

事業概要一覧表

所管局		建設局									
No.	事業番号	019-001	事務事業名	交通安全施設設置（地域整備事務所）	所管課	土木監理課		分類	D 建設・整備事業		
1	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7			
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進			
	事業内容			投入量（単位：千円）			費用対効果（事業の効率性）に係る所見				
	交差点改良工事や歩道改良、防護柵、道路標識、道路照明灯、道路反射鏡、道路区画線などの交通安全施設の設置を行う。			事業費(a)		R1決算	R2決算	R3予算	交通事故件数や市民からの施設設置要望等を勘案し、必要性の高い箇所から効果的・効率的に交通安全施設の充実・更新を行った。 また、令和2年度は、指定事故危険箇所のうち4箇所について安全対策を実施した。 今後とも交通管理者等と連携しながら、道路管理者として必要な交通安全施設の設置など交通安全対策を進め、歩行者・車両等の安全を図る必要がある。		
				うち一般財源		146,787	148,083	112,920			
				主 な 内 訳	交通安全施設維持管理計画等委託料	20,866	12,910	37,849			
					交通安全施設設置工事費	253,192	312,473	303,871			
					照明ポール等資材購入費	633	0	0			
				人件費(b)		64,800	65,600	53,300			
				年間経費(c)=(a)+(b)		339,491	390,983	395,020			
No.	事業番号	019-002	事務事業名	舗装補修マネジメント事業	所管課	土木監理課		分類	D 建設・整備事業		
2	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7			
		取組の方向性	①計画的な長寿命化の推進				主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進			
	事業内容			投入量（単位：千円）			費用対効果（事業の効率性）に係る所見				
	市内の幹線道路等（約323km）について、道路舗装面のひび割れ等の定期的な調査（路面性状調査）を行い、損傷が進行する前に計画的に補修する予防保全の概念を取り入れた維持管理を進める。 【ひび割れ等の定期的な調査】 平成22年度以降、5年に1度の頻度で実施。直近では令和2年度に実施した。 【補修箇所】 交通量の多い緊急交通路や幹線道路を中心に、4km/年を目標に舗装補修を実施。			事業費(a)		647,848	766,642	1,217,300	国費や令和3年度までの時限措置となっている公共施設等適正管理推進事業債を充当し計画的に事業を推進している。これらの財源を積極的に活用して、令和2年度は当初目標の延長4kmを上回る延長約9kmの道路で舗装補修を実施した。個別施設計画に基づき事業を推進し、将来にわたる維持管理コストを縮減することができた。		
				うち一般財源		22,248	85,542	93,334			
				主 な 内 訳	計画策定等委託料	29,414	90,532	75,800			
					舗装補修工事	618,434	676,110	1,141,500			
				人件費(b)		82,620	83,640	73,800			
				年間経費(c)=(a)+(b)		730,468	850,282	1,291,100			

事業概要一覧表

所管局		建設局									
No.	事業番号	019-003	事務事業名	一般道路新設改良（地域整備事務所）	所管課	土木監理課		分類	D 建設・整備事業		
3	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7			
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進			
	事業内容			投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	車両や歩行者等の安全な通行と利便性向上のため、狭あいな道路については、道路擁壁の改良や道路と縦断的に隣接している水路の暗渠化など、道路の拡幅を行う。			事業費(a)		R1決算	R2決算	R3予算	市民からの要望等を勘案し、必要性の高い箇所から効果的・効率的に拡幅改良等の工事を行った。 危険度や改良工事による利便性の向上程度等を考慮しながら道路擁壁改良や水路の暗渠化、側溝の勾配不良改善など事業を推進することは、通行安全の確保だけでなく生活環境にも寄与するなど効率的であるため、引き続き当該事業を行っていく必要がある。		
				うち一般財源		62,151	74,295	48,943			
				主な内訳	道路測量等設計等委託料	11,374	990	11,000			
					道路新設改良工事	47,888	73,305	35,000			
					負担金	2,889	0	2,943			
				人件費(b)		21,870	16,400	8,200			
				年間経費(c)=(a)+(b)		84,021	90,695	57,143			
No.	事業番号	019-004	事務事業名	舗装補修	所管課	土木監理課		分類	D 建設・整備事業		
4	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7			
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進			
	事業内容			投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	既設道路の舗装について、道路パトロールや市民からの要望等のもとに、現場確認を行い、緊急性の高い箇所から速やかに補修を行う。			事業費(a)		514,161	473,139	903,952	舗装の損傷箇所について、緊急性の高い箇所から速やかに舗装補修を行った。また、これまでの道路パトロール等だけでなく、LINEによる通報システムも活用するなど、より早期に効率的に補修することができた。 社会基盤である道路の舗装補修は、安全・安心のため道路管理者として最も重要な事業であるため、舗装補修マネジメント事業とあわせて引き続き事業を実施していく必要がある。		
				うち一般財源		478,361	418,139	482,152			
				主な内訳	舗装補修工事設計	14,337	2,948	6,923			
					舗装補修工事費	490,448	445,839	887,029			
					負担金	9,376	24,352	10,000			
				人件費(b)		137,700	139,400	73,800			
				年間経費(c)=(a)+(b)		651,861	612,539	977,752			

事業概要一覧表

所管局		建設局										
No.	事業番号		019-005	事務事業名	河川水路維持（地域整備事務所）	所管課	土木監理課		分類	D 建設・整備事業		
5	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	—				SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	—			
		施策	—					ターゲット	—			
		取組の方向性	—					主な取組	—			
	事業内容				投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	管理河川及び水路の構造物の修繕及び除草・清掃・浚渫等を行う。				事業費(a)		R1決算	R2決算	R3予算	市民からの要望等を勘案し、良好な排水機能を維持するための水路の整備工事や補修等を行った。 市街地における小規模な管理河川や水路については、昨今のいわゆるゲリラ豪雨等の水災害等の観点からも、河川水路等の維持管理は重要であるため、引き続き事業を実施していく必要がある。		
					うち一般財源		9,292	7,106	8,666			
					主 な 内 訳	水路構造物ほか修繕料等		1,993	1,682			2,636
						浚渫等委託料		1,628	1,060			1,700
						水路等整備工事費		5,034	3,937			3,880
						調整池観測局盤通信回線使用料		310	314			320
維持補修用原材料費						327	113	130				
人件費(b)					11,250	8,200	4,100					
年間経費(c)=(a)+(b)		20,542	15,306	12,766								
No.	事業番号		019-015	事務事業名	道路構造物アセットマネジメント事業	所管課	土木監理課		分類	D 建設・整備事業		
6	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～				SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築					ターゲット	11.7			
		取組の方向性	①計画的な長寿命化の推進					主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進			
	事業内容				投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	計画的な道路の維持管理を行うため、道路を構成する構造物（ボックスカルバート、案内標識等）について個別施設計画に基づき、点検・診断・措置（補修・更新）・記録のメンテナンスサイクルを実施する。 (参考：道路構造物と管理施設数) トンネル 2箇所 ボックスカルバート（大型） 6箇所 ボックスカルバート（小型） 32箇所 案内標識（門型） 70基 案内標識（大型） 1,945基 道路照明灯 16,027基				事業費(a)		R1決算	R2決算	R3予算	令和2年度は、案内標識（門型）等40基の法定点検を実施した。さらに、東区及び美原区の道路照明灯約300基の点検業務を実施した。 また、個別施設計画で更新が必要と位置付けた施設について、予防保全型の事業を推進したことで、将来にわたる維持管理コストを縮減することができた。		
					うち一般財源		143,498	107,087	283,714			
					主 な 内 訳	各種調査委託料		48,697	52,587			113,314
						整備工事費		47,332	33,844			134,414
						使用料及び賃借料		96,166	73,147			148,000
						負担金		0	0			100
通信費						0	96	300				
人件費(b)					0	0	900					
年間経費(c)=(a)+(b)		52,650	53,300	49,200								
		196,148	160,387	332,914								

事業概要一覧表

所管局		建設局										
No.	事業番号	019-020	事務事業名	泉北ニュータウン道路舗装更新事業	所管課	土木監理課		分類	D 建設・整備事業			
7	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDG s 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7				
		取組の方向性	①計画的な長寿命化の推進				主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進				
	事業内容			投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見				
	老朽化が進んでいる泉北ニュータウン内の道路舗装について、計画的に舗装更新を実施し、舗装の長寿命化と予算の平準化を図るとともに、安全・安心な道路空間を確保する。 【対象道路】 ・地区幹線道路（約80km） 主にバス等が通行する道路や歩道がある道路等、道路幅員が概ね6m以上の道路 ・生活道路（約120km） 主に道路幅員が6m未満の住宅地内の道路			事業費(a)		R1決算	R2決算	R3予算	財源に交付税措置のある公共施設等適正管理推進事業債の活用や占用者工事と連携した取り組みを行うなどして、事業を推進している。 H28を初年度とし、対象路線の舗装更新を順次進めているが、現在の事業進捗は、地区幹線道路約23%、生活道路約20%（R2末時点（発注ベース））となっており、計画的に事業を実施している。 今後も引き続き当該事業を推進する必要がある。			
				うち一般財源		13,136	26,106	40,837				
				主 な 内 訳	舗装更新設計委託	18,375	17,802	24,500				
					舗装更新工事	283,514	112,904	248,875				
					舗装更新負担金	11,206	82,100	62,362				
				人件費(b)		64,800	57,400	32,800				
				年間経費(c)=(a)+(b)		377,895	270,206	368,537				
No.	事業番号	019-096	事務事業名	道路橋りょう維持	所管課	土木監理課		分類	D 建設・整備事業			
8	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDG s 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7				
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進				
	事業内容			投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見				
	道路の清掃や除草、街路樹の管理、道路上にある土木施設の維持・管理・修繕等を行う。			事業費(a)		2,037,094	1,850,068	1,975,485	樹木管理や清掃等の委託業務について、剪定や清掃回数の見直しを行った。また、対象路線の見直しを行い維持管理コストの削減を図ることで、効率的に事業を実施している。 なお、安全・安心に通行できる道路機能を確保するため、引き続き当該事業を行っていく必要がある。			
				うち一般財源		917,639	742,327	747,428				
				主 な 内 訳	道路清掃、街路樹管理等の管理費	1,181,313	1,053,991	1,096,985				
					街路灯、防護柵等修繕料	724,786	694,477	622,490				
					側溝等整備工事費	130,995	101,600	256,010				
				人件費(b)		385,900	378,100	376,800				
				年間経費(c)=(a)+(b)		2,422,994	2,228,168	2,352,285				

事業概要一覧表

所管局		建設局										
No.	事業番号	019-110	事務事業名	泉北ニュータウン街路樹更新事業	所管課	土木監理課		分類	D 建設・整備事業			
9	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	4.人や企業をを惹きつける都市魅力 ～Attractive～			SDG s 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
		施策	(5) 泉北ニュータウンの新たな価値の創造				ターゲット	11.7				
		取組の方向性	②豊かな緑空間と多様な都市機能の調和				主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進				
	事業内容			投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見				
	街路樹の老木化・大木化によって、倒木の危険性や通行障害、景観機能の低下等が見られる泉北ニュータウンにおいて、過年度に作成した街路樹更新計画に基づき、街路樹の更新を行う。			事業費(a)		R1決算	R2決算	R3予算	—			
				うち一般財源		0	0	8,500				
				主 な 内 訳	街路樹更新工事	0	0	40,000				
人件費(b)				0	0	4,100						
年間経費(c) = (a)+(b)		0	0	44,100								
No.	事業番号	019-022	事務事業名	特殊車両通行許可業務	所管課	路政課		分類	B 法定義務等事業			
10	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	—			SDG s 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	—				
		施策	—				ターゲット	—				
		取組の方向性	—				主な取組	—				
	事業内容			投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見				
	車両制限令に規定の車両の幅・長さ・高さ・重さ等の最高限度を超える車両の通行について、通行許可書の発行を行う。 他の道路管理者からの通行協議に対し回答する。			事業費(a)		2,067	2,314	2,291	道路の構造を保全し、交通の危険を防止することが目的であるため、効果の可視化は困難であるが、許可申請等の年度内処理（申請及び協議約5,000件）は約90%を達成している また、国のオンライン個別協議システムへの参画、道路管理者間の協議書や回答書の電子データ化、オンライン化の促進により、通行許可書の交付事務、協議に対する回答事務の効率化を図っている。			
				うち一般財源		0	0	2,095				
				主 な 内 訳	賃金	1,823	0	0				
					報酬	0	1,557	1,593				
					インターネット回線使用料	81	81	81				
					道路情報便覧更新 ヒアリング旅費	0	0	0				
その他（消耗品等）				163	676	617						
人件費(b)		20,250	28,630	28,630								
年間経費(c) = (a)+(b)		22,317	30,944	30,921								

事業概要一覧表

所管局			建設局											
No.	事業番号		019-097	事務事業名	道路管理			所管課	路政課			分類	B 法定義務等事業	
11	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	—					SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	—				
		施策	—						ターゲット	—				
		取組の方向性	—						主な取組	—				
	事業内容				投入量（単位：千円）					費用対効果（事業の効率性）に係る所見				
	道路法に基づく、各種手続き、許可並びに道路敷地の財産管理等を行う。 ①道路敷地の取得・処分に、登記・契約等の財産管理に伴う事務 ②沿道敷地所有者との協議により、管理する道路の区域を確定 ③道路の認定、廃止等に係る議会上程手続き及び議決後の認定・区域決定・供用開始等の告示事務 ④道路認定等の告示内容に基づき、道路台帳（調書・図面）記載事項の修正を行い、道路台帳を整備 ⑤電気・ガス・水道等のライフラインを始めとする道路占用物件の許可事務				事業費(a)		R1決算	R2決算	R3予算	道路の認定等の議会上程に至るまでの決裁事務、告示事務のペーパーレス化、オンライン化を促進し、効率化を図れている。 道路台帳の整備は、本課履行事務と委託の役割の明確化、道路台帳の電子化、道路台帳管理システム等各種システムの活用など、上記道路認定等の事務を含め効率化が徹底されている。また、道路台帳は普通交付税等の算出に用いる基礎数値とされており、交付税検査をはじめとした各種照会に対し、説明責任を果たせる仕様となっているため、費用に対する効果は得られている。				
					うち一般財源		113,890	98,521	136,160					
					主 な 内 訳	道路台帳修正委託料	64,680	50,600	50,500					
						公共用地調査測量等事務	2,897	4,376	3,300					
						道路占用物件管理許可システム	4,840	1,947	1,223					
						道路交通情報提供業務	5,607	5,667	5,665					
その他の運営に係る事務経費等						35,866	35,931	75,472						
人件費(b)		122,220	192,530	188,750										
年間経費(c) = (a) + (b)		236,110	291,051	324,910										
No.	事業番号		019-029	事務事業名	法定外公共物管理事務			所管課	法定外公共物課			分類	B 法定義務等事業	
12	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	—					SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	—				
		施策	—						ターゲット	—				
		取組の方向性	—						主な取組	—				
	事業内容				投入量（単位：千円）					費用対効果（事業の効率性）に係る所見				
	主な事業内容 法定外公共物の財産管理者として、使用許可、用地処理、境界確定等、適正な管理を行う。 ①電気・ガス・水道等の法定外公共物の使用許可に関する事務 ②売り払い等の用地処理に関する事務 ③境界確定協議に関する事務				事業費(a)		R1決算	R2決算	R3予算	従前は、未利用地を売却する際に不動産鑑定士に鑑定を依頼していたため、狭小土地の売却が多い現状では、売却収入より鑑定費用が高くなるケースが多々あった。令和3年度より鑑定によらず評価することになり、鑑定費用は不要になり、不法占拠案件も事前に土地価格を先方に提示でき、撤去指導ではなく払下交渉を行うことができるようになった。それによって未利用地の売却促進（売却代金増、維持管理費減）につながる。また、コロナ対策として人同士が接触する機会を極力減らすため、郵送による申請書類の受付や現場立会の分散による密の回避を行うなどの改善を行っている。今後も、申請書類の受付等について、ICTの活用により更なる業務の効率化・サービスの向上を図っていく。				
					うち一般財源		13,478	17,105	15,755					
					主 な 内 訳	法定外公共物管理台帳作成業務等委託料	5,946	7,639	7,594					
						報酬・賃金	4,996	6,124	4,657					
						情報システム機器借上料	1,026	1,026	1,026					
						損害賠償金	0	545	0					
その他（消耗品費等）						1,510	1,771	2,478						
人件費(b)		102,500	90,600	96,300										
年間経費(c) = (a) + (b)		115,978	107,705	112,055										

事業概要一覧表

所管局			建設局										
No.	事業番号		019-030	事務事業名	内川排水機場維持管理		所管課	河川水路課			分類	D 建設・整備事業	
13	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～				SDG s 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築					ターゲット	11.5,11.b				
		取組の方向性	①計画的な長寿命化の推進					主な取組	住宅、公共施設、都市インフラの災害対策の推進				
	事業内容				投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見				
	・内川排水機場は設置から35年以上が経過していることから、施設の延命化を図るため、長寿命化計画に基づき、各機器の整備・更新を行う。 ・排水ポンプが常に正常な運転ができる状態に保つために、各種点検を行う。 ・河川構造物の耐震性能照査指針(国土交通省)に基づき、液状化を考慮した耐震対策を行う。				事業費(a)		R1決算	R2決算	R3予算	R2は下記の工事を実施し、長寿命化計画等に基づく各機器の延命化、費用の平準化及び機能の向上を実施した。 なお、財源に国交省からの交付金を充当し、効果的かつ効率的に事業実施している。 内川排水機場蓄電池更新工事 内川排水機場耐震補強工事			
					うち一般財源		71,146	128,001	106,544				
					主 な 内 訳	施設運転監視等委託等	43,235	43,578	48,600				
						内川排水機場除塵機設備整備工事	0	20,336	0				
						内川排水機場耐震補強工事	0	10,900	30,400				
						内川排水機場蓄電池更新工事	0	7,644	0				
その他					27,911	45,543	27,544						
人件費(b)		14,580	14,760	14,760									
年間経費(c)=(a)+(b)		85,726	142,761	121,304									
No.	事業番号		019-031	事務事業名	一般河川改良事業		所管課	河川水路課			分類	D 建設・整備事業	
14	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～				SDG s 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
		施策	(1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上					ターゲット	11.5,11.b				
		取組の方向性	①危機対応力の強化					主な取組	住宅、公共施設、都市インフラの災害対策の推進				
	事業内容				投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見				
	【治水対策】 一級河川狭間川においては、時間雨量50mm程度の降雨を安全に流下させることを当面の整備目標とし、下流部より順次河道改修工事を進めている。 準用河川百舌鳥川においては、時間雨量50mm程度の降雨を安全に流下させることを整備目標とし、上流部の狭あい区間における治水安全度の向上を図ることを目的に、令和元年度より河道改修事業を進めている。 【河川管理施設の適正化】 河川管理施設の点検・評価結果に基づき、予防保全対策として、本市における一級・二級・準用河川の河床・護岸補修等を実施している。				事業費(a)		R1決算	R2決算	R3予算	令和2年度においても、1級河川狭間川、準用河川百舌鳥川の河道改修工事を重点的に実施した。また河川施設の点検・評価結果に基づき、優先順位をつけて効果的かつ効率的に河床・護岸補修工事等を実施した。 なお、財源に国交省からの交付金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。			
					うち一般財源		301,645	250,837	484,444				
					主 な 内 訳	狭間川改修事業	13,645	22,437	31,044				
						百舌鳥川改修事業	257,042	141,648	262,500				
						河床・護岸補修等	23,694	36,273	74,400				
						急傾斜地崩壊防止工事負担金助成事業	16,209	37,815	91,844				
光竜寺川改良事業					0	0	1,200						
人件費(b)		4,700	35,101	54,500									
年間経費(c)=(a)+(b)		12,960	13,120	13,120									
		314,605	263,957	497,564									

事業概要一覧表

所管局		建設局										
No.	事業番号	019-109	事務事業名	河川水路維持	所管課	河川水路課		分類	D 建設・整備事業			
15	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	—			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	—				
		施策	—				ターゲット	—				
		取組の方向性	—				主な取組	—				
	事業内容				投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	管理河川及び水路を良好な状態に保ち、安全で快適な河川環境を保全するため、構造物の修繕及び除草・清掃・しゅんせつ等を行う				事業費(a)		86,229	85,350	91,796	樹木管理や清掃等の委託業務について、令和元年度の実績を踏まえ発注内容の見直しを行い必要事項の整理・調整により河川環境の保全を行った。 また河川点検結果より事前補修箇所の抽出を行い、今後の維持補修費用の平準化を図った。		
					うち一般財源		85,117	84,237	89,685			
					主 な 内 訳	内川ほか樹木管理業務	15,740	14,247	14,485			
						狭間川他樹木管理業務	15,402	15,439	14,300			
						美濃川ほか道路排水施設等清掃業務	13,338	10,033	11,300			
						管理河川点検業務	4,994	5,566	6,000			
						その他	36,755	40,065	45,711			
					人件費(b)		19,440	19,680	19,680			
	年間経費(c)=(a)+(b)		105,669	105,030	111,476							
No.	事業番号	019-037	事務事業名	事故危険箇所対策検討ほか業務	所管課	道路計画課		分類	G 企画・計画策定・調査研究事業			
16	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を				
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	3.6				
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	道路の交通安全対策の推進				
	事業内容				投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	事故危険箇所の対策は、国の社会資本整備重点計画の重点施策であり、道路管理者と公安委員会が連携の上、交通事故対策に取り組むこととされている。 本事業において、事故危険箇所の対策案の検討および毎年更新される事故データを基に対策後の効果評価を行う。				事業費(a)		0	1,705	13,510	事故危険箇所の対策案及び対策後の効果評価データは、国並びに公安委員会や庁内にも提供し、通学路の安全対策、生活道路の安全対策等の基礎資料として活用される。また、事故危険箇所において道路管理者と公安委員会が連携することによって、効果的かつ効率的に交通安全事業を進め死傷事故の抑止を図る。		
					うち一般財源		0	1,705	13,510			
					主 な 内 訳	調査委託費	0	1,705	13,510			
					人件費(b)		7,213	7,341	7,341			
	年間経費(c)=(a)+(b)		7,213	9,046	20,851							

事業概要一覧表

所管局			建設局								
No.	事業番号		019-038	事務事業名	道路・街路交通情勢調査等	所管課	道路計画課			分類	G 企画・計画策定・調査研究事業
17	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～				SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを		
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築					ターゲット	11.2		
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備					主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化		
	事業内容			投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	全国道路・街路交通情勢調査は、概ね5年間隔で実施してきており、日本全国の道路と道路交通の実態（一般交通量調査、OD調査）を把握し、道路の計画、建設、管理などについての基礎資料として活用している。 また、同調査と主要渋滞箇所に係る交差点調査を同時期に行う事で効率的な調査を実施するものである。			事業費(a)		R1決算	R2決算	R3予算	全国道路・街路交通情勢調査の結果を用いて市内道路網の交通量推計を行い、都市計画道路整備後の交通流の変化等を分析することにより、都市計画道路の整備効果の確認等に活用している。 また、交通量調査の必要な箇所については、他課との調整を行い、他課の交通量調査も一括して実施することで経費の削減を図っている。		
				うち一般財源		6,912	0	48,500			
				主 な 内 訳	調査委託費	6,912	0	49,000			
人件費(b)				5,840	7,751	7,751					
年間経費(c)=(a)+(b)		12,752	7,751	56,751							
No.	事業番号		019-039	事務事業名	都市計画道路整備プログラム	所管課	道路計画課			分類	G 企画・計画策定・調査研究事業
18	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～				SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを		
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築					ターゲット	11.2		
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備					主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化		
	事業内容			投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	都市計画道路整備プログラムは概ね5年ごとにプログラムの見直しを行うこととしています。本年度はプログラム策定から5年経過しており、社会経済情勢や本市各事業の進捗具合など様々な要因による変化を踏まえ、令和3年度は本プログラムの見直しに向けた検証を行う。			事業費(a)		0	0	12,342	都市計画道路整備プログラムは、都市計画決定済みの道路について、優先して整備着手すべき路線と時期を示し、限りある財源の中で、効果的かつ効率的な道路整備を実施することを示すものである。		
				うち一般財源		0	0	12,342			
				主 な 内 訳	調査委託費	0	0	12,342			
人件費(b)				6,803	8,571	8,571					
年間経費(c)=(a)+(b)		6,803	8,571	20,913							

事業概要一覧表

所管局			建設局											
No.	事業番号		019-042	事務事業名	築港天美線		所管課	道路計画課			分類	D 建設・整備事業		
19	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～					SDG s 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築						ターゲット	11.2				
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備						主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容			投入量 (単位：千円)					費用対効果（事業の効率性）に係る所見					
	道路拡幅により交差点部の付加レーン等車線数を増やすことで交通混雑を緩和し、交通環境の改善を図る。 都市計画決定：昭和21年5月22日 事業区間：堺区三宝町 路線延長：L=650m 道路幅員：W=25m（現道20m、北側片側拡幅） 車線数：2車線 令和2年度は、管理用地整備工事を行った。					R1決算	R2決算	R3予算	令和2年度は管理用地整備工事を行い、事業用地の適正な維持管理を行った。 今後、中長期的に計画されている堺駅・旧堺港エリア並びに堺浜エリアの開発と併せた事業の在り方を検討していく。					
				事業費(a)		154	2,475	0						
				うち一般財源		154	2,475	0						
				主 な 内 訳	工事費		0	2,475						0
					用地費		0	0						0
					測量等委託費		75	0						0
物件移転補償金					0	0	0							
その他					79	0	0							
人件費(b)		6,806	3,651	1,109										
年間経費(c)=(a)+(b)		6,960	6,126	1,109										

No.	事業番号		019-044	事務事業名	諏訪森神野線（延伸）		所管課	道路計画課			分類	D 建設・整備事業		
20	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～					SDG s 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築						ターゲット	11.2				
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備						主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容			投入量 (単位：千円)					費用対効果（事業の効率性）に係る所見					
	慢性的な交通渋滞の要因である鉄道交差部の構造を改善し、幹線道路と接続することで、円滑な交通の確保を行う。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。 都市計画決定：昭和21年5月22日 事業認可：平成4年5月29日～令和4年3月31日 事業区間：西区宮下町～西区神野町 路線延長：L=1,050m（約500mは供用済） 道路幅員：W=18m 車線数：2車線 JR立体交差 1箇所 令和2年度は、JR立体交差工事及び供用にむけた道路工事を行った。					R1決算	R2決算	R3予算	本事業は平成4年度～令和3年度に掛けて推進しており、工事延長L=1,050m、幅員W=18m区間の用地取得をはじめ一部区間においてはJR阪和線高架下の道路を拡幅するなど大規模な道路事業である。長期にわたり地権者、地元、鉄道事業者並びに関係機関等との協議調整を鋭意行っており、令和2年度はJR立体交差工事の完了及び供用開始に向けた道路工事を予定通り実施することができた。これら過年度からの実績もあり令和3年度に全線供用開始予定である。 なお、財源に国交省からの交付金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。					
				事業費(a)		818,736	618,973	191,742						
				うち一般財源		42,026	39,423	31,217						
				主 な 内 訳	工事費		15,147	161,198						117,967
					用地費		14,800	0						55,865
					測量等委託費		787,317	450,447						0
物件移転補償金					468	4,152	1,100							
その他					1,004	3,176	16,810							
人件費(b)		8,726	8,571	7,751										
年間経費(c)=(a)+(b)		827,462	627,544	199,493										

事業概要一覽表

所管局			建設局												
No.	事業番号		019-045	事務事業名	南花田鳳西町線（金岡・白鷺地区）		所管課	道路計画課			分類	D 建設・整備事業			
21	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～					SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(11)住み続けられるまちづくりを					
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築						ターゲット	11.2					
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備						主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化					
	事業内容				投入量（単位：千円）					費用対効果（事業の効率性）に係る所見					
	本市の環状道路ネットワークの形成により、並行する常磐浜寺線をはじめとする主要道路の慢性的な渋滞を緩和するとともに、物流の効率化や商業立地を促進するもの。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。 都市計画決定：昭和33年1月25日 事業認可：平成27年2月23日～令和9年3月31日 事業区間：北区金岡町～東区白鷺町 路線延長：L=1,850m 道路幅員：W=22～45m 車線数：4車線 令和2年度は、用地再取得、用地取得並びに支障物件調査等を行った。				事業費(a)		R1決算	R2決算	R3予算	土地所有者と用地取得に向けた交渉を鋭意行った結果、用地取得することができた。また、土地所有者との協議を進め、用地測量並びに支障物件調査を計画的かつ効率的に実施できた。 なお、財源に国交省からの交付金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：39.3%					
					うち一般財源		88,404	38,947	25,528						
					主 な 内 訳	工事費		0	559						150
						用地費		1,626,170	497,248						238,500
						測量等委託費		5,018	19,814						114,103
						物件移転補償金		36,802	17,038						19,000
その他						8,759	136	290							
人件費(b)					6,296	8,571	7,751								
年間経費(c)=(a)+(b)		1,683,045	543,366	379,794											
No.	事業番号		019-046	事務事業名	新家日置荘線（延伸）		所管課	道路計画課			分類	D 建設・整備事業			
基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～					SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(11)住み続けられるまちづくりを						
	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築						ターゲット	11.2						
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備						主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化						
22	事業内容				投入量（単位：千円）					費用対効果（事業の効率性）に係る所見					
	国道310号と南海高野線初芝駅を東西に結び、駅西側に駅前広場を設けることで、駅西周辺地区から駅へのアクセスの向上を図り、現在、初芝駅東側に集中している駅利用者の交通混雑を緩和する。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。 都市計画決定：昭和40年7月29日 事業認可：平成13年2月9日～令和4年3月31日 事業区間：東区野尻町～東区日置荘西町 路線延長：L=389m 駅前交通広場A=3,300㎡ 道路幅員：W=16m 車線数：2車線 令和2年度は、用地取得及び供用に向けた道路工事を行った。				事業費(a)		R1決算	R2決算	R3予算	供用に向けた関係機関協議を行い、道路築造工事を実施した。 また、土地所有者と用地取得に向けた交渉を鋭意行った結果、用地取得することができた。これら過年度からの実績もあり令和3年度に全線供用開始予定である。 なお、財源に国交省からの交付金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：97.4%					
					うち一般財源		82,576	44,026	185,709						
					主 な 内 訳	工事費		34,057	22,984						121,437
						用地費		46,141	16,783						27,417
						測量等委託費		341	3,713						200
						物件移転補償金		0	480						34,275
						その他		2,037	66						2,380
					人件費(b)		8,726	8,571	7,751						
	年間経費(c)=(a)+(b)		91,302	52,597	193,460										

事業概要一覧表

所管局		建設局								
No.	事業番号	019-047	事務事業名	錦浜寺南町線	所管課	道路計画課		分類	D 建設・整備事業	
23	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを		
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2		
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化		
	事業内容			投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見		
	国道26号、府道堺阪南線の慢性的な渋滞を緩和し、生活道路への通過交通を抑制する。また、津波避難の指定地域であることから、緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。 都市計画決定：昭和21年5月22日 事業認可：令和2年3月12日～令和9年3月31日 事業区間：西区浜寺石津町東～西区浜寺船尾町西 路線延長：L=534m 道路幅員：W=25m 車線数：2車線 橋梁 1 橋（橋長56.0m） 令和2年度は、用地再取得を行った。			事業費(a)		R1決算	R2決算	R3予算	令和元年度に引き続き、用地再取得を行った。 なお、財源に国交省からの交付金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：100%	
				うち一般財源		9,387	31,185	1,315		
				主 な 内 訳	工事費	0	0	10,000		
					用地費	156,301	601,303	0		
					測量等委託費	0	988	815		
					物件移転補償金	0	0	0		
その他					1,536	44	0			
人件費(b)				4,676	6,111	5,783				
年間経費(c)=(a)+(b)				162,513	608,446	16,598				
No.	事業番号	019-048	事務事業名	草尾南野田線	所管課	道路計画課		分類	D 建設・整備事業	
24	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを		
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2		
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化		
	事業内容			投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見		
	国道310号から南海高野線北野田駅へのアクセス機能向上と地域の交通ネットワークの強化を図る。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。 都市計画決定：昭和40年7月29日 事業認可：平成26年5月28日～令和6年3月31日 事業区間：東区草尾～東区西野 路線延長：L=723m 道路幅員：W=18m 車線数：2車線 令和2年度は、用地再取得等を行った。			事業費(a)		49,703	17,644	47,623	土地所有者との協議を進め、用地測量を計画的に実施した。また、用地再取得を行った。 なお、財源に国交省からの交付金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：75.5%	
				うち一般財源		5,994	3,563	10,946		
				主 な 内 訳	工事費	0	0	17,000		
					用地費	46,243	14,967	15,755		
					測量等委託費	2,621	2,478	9,918		
					物件移転補償金	0	0	4,900		
その他					839	199	50			
人件費(b)				6,296	6,111	7,751				
年間経費(c)=(a)+(b)				55,999	23,755	55,374				

事業概要一覧表

所管局			建設局											
No.	事業番号		019-049	事務事業名	大阪河内長野線（南余部・北野田地区）	所管課	道路計画課			分類	D 建設・整備事業			
25	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～				SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを					
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築					ターゲット	11.2					
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備					主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化					
	事業内容				投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見					
	府道大阪狭山線のバイパス道路として、交通分散を図り、渋滞緩和に寄与する。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。 都市計画決定：昭和45年8月17日 事業認可：平成25年2月15日～令和3年3月31日 事業区間：美原区南余部～東区北野田 路線延長：L=500m 道路幅員：W=35m 車線数：4車線 橋梁 1橋（橋長23.4m） 令和2年度は、道路工事が完了し供用開始することができた。				事業費(a)		R1決算	R2決算	R3予算	道路工事が完了し、令和2年9月30日に供用開始することができた。 なお、財源に国交省からの交付金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。				
					うち一般財源		14,248	10,390	4,700					
					主 な 内 訳	工事費		169,766	43,049				6,500	
						用地費		0	0				0	
						測量等委託費		0	5,102				400	
						物件移転補償金		0	0				0	
その他						2,352	239	0						
人件費(b)					8,726	6,111	3,815							
年間経費(c)=(a)+(b)		180,844	54,501	10,715										
No.	事業番号		019-050	事務事業名	阪神高速道路(株)の事業に対する出資金	所管課	道路計画課			分類	B 法定義務等事業			
26	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～				SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを					
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築					ターゲット	11.2					
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備					主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化					
	事業内容				投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見					
	(独)日本高速道路保有・債務返済機構に対し、現在事業中の阪神高速道路の新設・改築に要する費用の一部を独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構法に基づき出資している。				事業費(a)		481,000	104,000	77,000	(独)日本高速道路保有・債務返済機構に対し、現在事業中の阪神高速道路の新設・改築に要する費用の一部を独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構法に基づき出資しなければならない。				
					うち一般財源		48,100	10,400	7,700					
					主 な 内 訳	出資金		481,000	104,000				77,000	
人件費(b)					11,680	12,222	12,222							
年間経費(c)=(a)+(b)		492,680	116,222	89,222										

事業概要一覧表

所管局		建設局										
No.	事業番号	019-052	事務事業名	大阪河内長野線（八下地区）		所管課	道路計画課		分類	D 建設・整備事業		
27	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2				
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容			投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見				
	府道大阪狭山線は十分な歩行者空間が確保されておらず、自動車交通も混雑している状況であることから、この課題を早期に解消するため、特に渋滞が多発している野遠石原町交差点南側において道路拡幅を実施するものである。 都市計画決定：昭和45年8月17日 事業認可：平成28年3月29日～令和8年3月31日 事業区間：東区八下町 路線延長：L=220m 道路幅員：W=35m 車線数：4車線 令和2年度は、用地取得及び支障物件調査等を行った。			事業費(a)		R1決算	R2決算	R3予算	土地所有者と用地取得に向けた交渉を鋭意行った結果、用地取得することができた。また、土地所有者との協議を進め、用地測量並びに支障物件調査を計画的に実施した。 なお、財源に国交省からの交付金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：38.4%			
				うち一般財源		7,675	18,901	33,021				
				主 な 内 訳	工事費		0	253				3,000
					用地費		0	132,931				137,797
					測量等委託費		28,458	31,062				31,436
					物件移転補償金		0	33,280				126,722
その他					912	55	160					
人件費(b)				6,296	6,111	7,751						
年間経費(c)=(a)+(b)				35,666	203,692	306,866						

No.	事業番号	019-053	事務事業名	大阪河内長野線（北野田地区）		所管課	道路計画課		分類	D 建設・整備事業		
28	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2				
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容			投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見				
	本市東部地域の軸となる幹線道路の整備により、並行する国道309号や府道大阪狭山線をはじめとする主要道路の慢性的な渋滞を緩和し、交通環境の改善を図る。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高め、火災時の延焼遮断機能の強化を図る。 都市計画決定：昭和45年8月17日 事業認可：令和2年3月6日～令和9年3月31日 事業区間：東区北野田地内 路線延長：L=670m 道路幅員：W=35m 車線数：4車線 令和2年度は、地権者へ事業説明資料の配布を行った。			事業費(a)		R1決算	R2決算	R3予算	令和元年度の事業認可取得後、地権者への事業説明を行うための資料を配布した。 なお、財源に国交省からの交付金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。			
				うち一般財源		0	21	7,025				
				主 な 内 訳	工事費		0	0				100
					用地費		0	0				0
					測量等委託費		0	0				6,895
					物件移転補償金		0	0				0
その他					0	21	30					
人件費(b)				4,676	4,471	5,783						
年間経費(c)=(a)+(b)				4,676	4,492	12,808						

事業概要一覧表

所管局			建設局									
No.	事業番号		019-054	事務事業名	大阪和泉泉南線		所管課	道路計画課		分類	D 建設・整備事業	
29	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～					SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを		
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築						ターゲット	11.2		
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備						主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化		
	事業内容			投入量 (単位：千円)					費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	当該交差点南側の北行車線の車線数を増設することで、渋滞緩和及び交通事故の抑制を図る。 都市計画決定：昭和21年5月22日 事業認可：平成29年3月9日～令和4年3月31日 事業区間：堺区霞ヶ丘町 1 丁ほか 延長：L=131m 道路幅員：W=22m 車線数：4車線 令和2年度は用地取得に必要な支障物件調査及び電線共同溝予備設計を行った。			事業費(a)		R1決算	R2決算	R3予算	土地所有者と鋭意交渉を行った結果、用地取得に必要な支障物件調査を行うことができた。また、都市計画道路整備に合わせた電線共同溝予備設計を実施した。 なお、財源に国交省からの交付金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。			
				うち一般財源		749	3,680	5,795				
				主 な 内 訳	工事費	0	0	500				
					用地費	0	0	77,300				
					測量等委託費	749	5,280	10,485				
					物件移転補償金	0	0	17,400				
その他					0	0	1,860					
人件費(b)				6,296	5,291	5,783						
年間経費(c)=(a)+(b)		7,045	10,571	113,328								
No.	事業番号		019-063	事務事業名	出島百舌鳥線		所管課	道路計画課		分類	D 建設・整備事業	
30	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～					SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを		
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築						ターゲット	11.2		
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備						主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化		
	事業内容			投入量 (単位：千円)					費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	来訪者や道路利用者の利便性向上と、駅前広場整備による交通結節点機能の向上及び安全で快適な駅前空間、歩道と車道を分離し、安全で快適な歩行者空間の確保を図る。 都市計画決定：昭和21年5月22日 事業認可：平成28年3月30日～令和5年3月31日 事業区間：堺区百舌鳥夕雲町ほか 路線延長：L=450m 道路幅員：W=16m 駅前広場：A = 2,460㎡ 車線数：2車線 令和2年度は、用地再取得並びに用地取得等を行った。			事業費(a)		231,152	232,042	180,207	土地所有者と鋭意交渉を行った結果、用地取得及び用地取得に必要な支障物件調査等を行うことができた。また、都市計画道路整備に合わせた電線共同溝予備設計を実施した。 なお、財源に国交省からの交付金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率（駅前広場）：48.8%			
				うち一般財源		5,302	48,206	16,748				
				主 な 内 訳	工事費	2,585	6,297	10,000				
					用地費	217,743	162,951	61,580				
					測量等委託費	5,570	6,431	57,087				
					物件移転補償金	3,395	55,668	51,500				
その他					1,859	695	40					
人件費(b)				6,296	6,111	5,783						
年間経費(c)=(a)+(b)		237,448	238,153	185,990								

事業概要一覧表

所管局			建設局									
No.	事業番号		019-098	事務事業名	常磐浜寺線	所管課	道路計画課		分類	D 建設・整備事業		
31	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～				SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築					ターゲット	11.2			
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備					主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化			
	事業内容				投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	本市の環状道路ネットワークの形成により、並行する南花田鳳西町線をはじめとする主要道路の慢性的な渋滞を緩和するとともに、物流の効率化や商業立地を促進するもの。また、津波避難対象地域における避難路の役割を担う路線であるため、地域の防災性向上に寄与する。 都市計画：昭和21年5月22日 決定 事業認可：令和元年9月19日～令和10年3月31日 事業区間：西区浜寺諏訪森町東3丁～西区浜寺諏訪森町西4丁 事業延長：L=520m 計画幅員：W29m 車線数：4車線 令和2年度は、用地再取得並びに用地取得等を行った。				事業費(a)		R1決算	R2決算	R3予算	土地所有者と鋭意交渉を行った結果、用地取得及び用地取得に必要な用地測量を行うことができた。また、都市計画道路整備に合わせた電線共同溝予備設計を実施した。 なお、財源に国交省からの交付金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。		
					うち一般財源		23	5,598	11,759			
					主 な 内 訳	工事費		0	0		200	
						用地費		140,123	410,869		66,600	
						測量等委託費		0	5,048		25,908	
						物件移転補償金		0	93		40,000	
その他						0	289	80				
人件費(b)		5,435	9,145	9,063								
年間経費(c)=(a)+(b)		145,558	425,444	141,851								
No.	事業番号		019-099	事務事業名	諏訪森神野線(浜寺地区)	所管課	道路計画課		分類	D 建設・整備事業		
32	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～				SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築					ターゲット	11.2			
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備					主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化			
	事業内容				投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	主要幹線道路との広域道路ネットワークの形成に向け、諏訪森神野線（浜寺地区）は、令和3年度に事業認可を取得する予定。令和2年度は交通管理者などの関係機関と協議し、道路予備設計を行った。令和3年度は、交通管理者や認可権者の大阪府と協議調整し、都市計画道路の事業認可を取得する予定。				事業費(a)		R1決算	R2決算	R3予算	主要幹線道路との連携による道路ネットワークの形成により、下石津泉ヶ丘線、常磐浜寺線をはじめとする主要道路の慢性的な渋滞を緩和するとともに、物流の効率化や商業立地を促進するもの。また、津波避難対象地域における避難路の役割を担う路線であるため、地域の防災性向上に寄与している。		
					うち一般財源		1,200	3,392	850			
					主 な 内 訳	調査委託費		1,200	3,392		850	
人件費(b)		6,245	7,751	7,751								
年間経費(c)=(a)+(b)		7,445	11,143	8,601								

事業概要一覧表

所管局			建設局											
No.	事業番号		019-112	事務事業名	大和川線周辺整備事業		所管課	道路計画課			分類	D 建設・整備事業		
33	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～					SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築						ターゲット	11.2				
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備						主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容					投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見				
	阪神高速道路大和川線は令和2年3月に全線供用を迎えている。現在、大和川線周辺において実施されている河川復旧工事（阪神高速道路(株)施工）等にあわせて、堺市が整備・復旧する必要がある道路工事等について実施する。 ○阪神高速道路(株)が実施する西除川河川復旧工事・常磐黒土線復旧工事にあわせて、既設歩道の復旧及び歩道拡幅部の整備を行う。 ○阪神高速道路大和川線の常磐西出入口と府道大阪高石線の合流部について、植樹帯の撤去等の歩道改良工事を行う。					事業費(a)		R1決算	R2決算	R3予算	大和川線事業（堺市施行区間）は、平成21年度の工事着手から長きにわたり地元住民に協力いただきながら工事を進めてきた。大和川線全線開通を迎えた現在も、引き続き西除川河川復旧工事等を工事中であり、早期に残工事を完了させる必要がある。			
						うち一般財源						主な内訳		
						工事費			1,199	62,800				
						用地費			0	0				
						委託費			0	12,510				
						負担金			183	8,183				
事務費							14	570						
人件費(b)			11,031	19,231										
年間経費(c)=(a)+(b)		0	12,427	103,294										
No.	事業番号		019-055	事務事業名	特定道路バリアフリー化事業		所管課	道路整備課			分類	D 建設・整備事業		
34	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～					SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を				
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築						ターゲット	3.6				
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備						主な取組	道路の交通安全対策の推進				
	事業内容					投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見				
	この計画の特定道路においては、歩道の段差・勾配・障害物の移設等の改良及び視覚障害者用誘導ブロックの設置等を行う。 堺市バリアフリー基本構想に基づくバリアフリー化事業については、実施可能な特定道路のバリアフリー化を令和3年度に完了する。 令和元年7月に国土交通省より、特定道路の追加指定が発表された。 本市でも約40kmが指定されており、バリアフリー基本構想の見直し後、令和3年度以降新たな道路特定事業計画を作成し、特定道路のバリアフリー化工事を引き続き実施する。					事業費(a)		R1決算	R2決算	R3予算	本事業については、計画的に遂行されており、おおむね順調に推移し、他事業関連の整備路線を除き、R3年度に100%完成する。整備箇所に応じた工法を採用することにより、効率的に事業を執行し、だれもが移動しやすく安全・快適で活力のあるまちづくりに寄与した。			
						うち一般財源		1,078	5,466	1,620		主な内訳		
						歩道等調査設計費		0	913	0				
						歩道等工事費		15,238	64,325	20,000				
人件費(b)						20,250	13,300	2,050						
年間経費(c)=(a)+(b)		35,488	78,538	22,050										

事業概要一覧表

所管局			建設局									
No.	事業番号		019-056	事務事業名	交通安全施設設置（道路整備課）	所管課	道路整備課		分類	D 建設・整備事業		
35	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を				
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	3.6				
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	道路の交通安全対策の推進				
	事業内容			投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見				
	歩道設置や交差点改良工事、踏切道改良工事等を実施するものである。			事業費(a)		R1決算	R2決算	R3予算	本事業は、通学路や踏切などにおいて、安全な道路空間の確保を行っていく事業であり、事業箇所に応じて沿道土地所有者の負担が最小限になるように整備手法を検討することで、用地取得を含め事業を効率よく進めている。			
				うち一般財源		41,947	15,743	76,735				
				主 な 内 訳	工事設計、測量等委託		13,947	8,943				16,175
					工事費		13,769	8,124				12,360
					用地費補償費		26,921	4,924				26,000
					負担金		1,160	2,695				38,200
負担金					97	0	100					
その他（役務費、需用費）				0	0	75						
人件費(b)		20,250	13,050	123,000								
年間経費(c)=(a)+(b)		62,197	28,793	199,735								
No.	事業番号		019-057	事務事業名	直轄国道負担金	所管課	道路整備課		分類	B 法定義務等事業		
36	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(11)住み続けられるまちづくりを				
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2				
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容			投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見				
	地方財政法第17条の2の規定及び道路法第53条等に基づき、直轄国道（国道26号）で実施する事業について負担金を支出する。 （主な事業） 住吉橋架替事業、電線共同溝事業			事業費(a)		R1決算	R2決算	R3予算	本事業は、直轄国道（国道26号）で実施する事業に対して一定割合の費用を負担するものであり、国により計画的に事業を実施している。			
				うち一般財源		408,497	365,500	404,000				
				主 な 内 訳	負担金		15,497	16,500				40,400
					負担金		408,497	365,500				404,000
人件費(b)		810	820	820								
年間経費(c)=(a)+(b)		409,307	366,320	404,820								

事業概要一覧表

所管局		建設局											
No.	事業番号	019-058	事務事業名	一般道路新設改良（道路整備課）	所管課	道路整備課		分類	D 建設・整備事業				
37	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を					
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	3.6					
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	道路の交通安全対策の推進					
	事業内容			投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見					
	幅員が狭い生活道路（府道、市道）において、狭い箇所の拡幅、隅切りの設置、車両離合場所の設置等により、安全性及び利便性の向上を図るものである。			事業費(a)		R1決算	R2決算	R3予算	本事業は、地元自治会等からの要望に基づく事業であり、事業箇所に応じて沿道土地所有者の負担が最小限になるように整備手法を検討することで、用地取得を含め事業を効率よく進めている。				
				うち一般財源		9,670	38,420	35,334					
				主な内訳	工事設計、測量等委託		25,229	32,981					77,722
					工事費		26,613	83,053					169,074
					用地費・補償費		0	24,367					43,306
					負担金		777	0					1,000
					その他（役務費、需用費）		0	19					833
				人件費(b)		31,590	40,180	40,180					
	年間経費(c)=(a)+(b)		84,209	180,600	332,115								
No.	事業番号	019-100	事務事業名	無電柱化推進事業	所管課	道路整備課		分類	D 建設・整備事業				
38	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(11)住み続けられるまちづくりを					
		施策	(1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上				ターゲット	11.2,11.7					
		取組の方向性	②都市インフラの耐震化の推進				主な取組	無電柱化の推進					
	事業内容			投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見					
	「堺市無電柱化推進計画」に基づき、無電柱化事業を推進する。 今後、広域緊急交通路重点14路線の1つである府道大阪和泉泉南線の無電柱化に向け、予備設計を実施していく予定である。			事業費(a)		R1決算	R2決算	R3予算	地震等の災害時の電柱倒壊による避難や緊急車両の通行、救援活動、物資支援などの阻害を防ぎ、都市防災機能を確保することを目的としており、事業箇所に応じた適切な工法を用いることにより、事業を効率的に実施していく。				
				うち一般財源		0	3,795	10,000					
				主な内訳	委託費		0	3,795					10,000
				人件費(b)		9,485	8,950	2,050					
	年間経費(c)=(a)+(b)		9,485	12,745	12,050								

事業概要一覧表

所管局			建設局												
No.	事業番号		019-061	事務事業名	南海本線連続立体交差事業		所管課	連続立体推進課			分類	D 建設・整備事業			
39	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～					SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを					
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築						ターゲット	11.2					
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備						主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化					
	事業内容				投入量 (単位：千円)					費用対効果（事業の効率性）に係る所見					
	鉄道高架延長：約2.7km 踏切除却数：7箇所 高架化される駅：諏訪ノ森駅、浜寺公園駅 概算事業費：約423億円 令和2年度実施内容 ・鉄道仮線工事、一部高架工事 ・占用物移設工事 ・阪堺線東側移設に伴う船津水路移設工事 ・諏訪ノ森駅旧駅舎試験活用開始 ・鉄道事業者と連携し、地域住民への周知、説明を実施				事業費(a)		R1決算	R2決算	R3予算	・事業スケジュールに基づき、概ね予定通りの工事進捗を確保することができた。 ・進捗状況にあわせて鉄道事業者との調整を十分に行っているが、今後さらに工事進捗を確保できるよう創意工夫を行い、事業に取り組んでいく。					
					うち一般財源		4,846	174,994	133,703						
					主な内訳	鉄道事業者施行及び 占用物件負担金		1,792,000	1,038,545						1,836,640
						物件移転補償金		149,487	534,431						1,052,733
						公有財産購入費		16,403	746,016						38,476
						工事請負費		17,711	8,462						108,350
その他						133,174	70,859	91,222							
人件費(b)					40,050	38,040	36,400								
年間経費(c)=(a)+(b)		2,148,825	2,436,353	3,163,821											
No.	事業番号		019-062	事務事業名	南海高野線連続立体交差事業		所管課	連続立体推進課			分類	D 建設・整備事業			
40	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～					SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを					
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築						ターゲット	11.2					
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備						主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化					
	事業内容				投入量 (単位：千円)					費用対効果（事業の効率性）に係る所見					
	鉄道高架延長：約3km 踏切除却数：10箇所 高架化される駅：浅香山駅、堺東駅 令和2年度実施内容 ・鉄道に関する施工計画検討及び測量 ・都市計画素案の都市計画審議会報告 ・環境影響評価準備書の公表及び説明会実施 ・都市計画素案の公表及び説明会実施 ・環境影響評価書の作成 ・国土交通省及び大阪府と都市計画決定に向けた協議を実施				事業費(a)		R1決算	R2決算	R3予算	・新型コロナウイルス感染症拡大による事業スケジュールへの影響が懸念されたが、関係者協議でのリモート会議の活用、説明動画のWEB配信や事前申込制の採用など感染症対策を講じた説明会の開催により、令和3年度中を目標とする都市計画決定、事業認可取得にむけて効果的、効率的に事業を進めた。 ・引き続き状況に応じて可能な限り丁寧な市民説明を行いながら、令和4年度の事業着手に向けて必要な手続きを進める。					
					うち一般財源		22,158	15,012	54,197						
					主な内訳	工事設計、測量及び 地質調査等委託業務		276,000	74,800						80,550
						都市計画支援等業務		37,586	20,901						11,900
						各種調査及び検討業務		4,417	0						0
						コロナ対応委託料		0	2,684						0
その他						806	616	1,347							
人件費(b)					28,350	31,160	41,000								
年間経費(c)=(a)+(b)		347,159	130,161	134,797											

事業概要一覧表

所管局		建設局									
No.	事業番号	019-068	事務事業名	公園施設管理事業	所管課	公園監理課			分類	D 建設・整備事業	
41	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDG s 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7			
		取組の方向性	③新技術や民間技術力の活用				主な取組	民間活力を活用した魅力的な公園の運営			
	事業内容			投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	都市環境の良好な景観の形成に寄与し、公園を快適に利用頂くため、既存の施設や樹木等については適切かつ効率的な維持管理・保全を行う。 【R2年度の実施内容】 ・樹木剪定、除草、薬剤散布、トイレ清掃、主要公園の警備、破損施設（遊具等）の修理、公園管理に要する光熱水費 等			事業費(a)		R1決算	R2決算	R3予算	競争入札による電気使用料の縮減（令和元年度より継続）等、維持管理費用の縮減を図ることで、効率的に事業を実施している。		
				うち一般財源		1,549,778	1,217,647	1,391,973			
				主 な 内 訳	樹木剪定・除草等委託料	946,456	892,964	929,195			
					遊具等修繕料	57,901	40,128	55,360			
					光熱水費	545,421	284,555	407,418			
人件費(b)				245,070	248,270	248,270					
年間経費(c) = (a)+(b)				1,794,848	1,465,917	1,640,243					
No.	事業番号	019-101	事務事業名	公園施設長寿命化等事業	所管課	公園監理課			分類	D 建設・整備事業	
42	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDG s 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7			
		取組の方向性	①計画的な長寿命化の推進				主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進			
	事業内容			投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	今後、急速に高齢化を迎える公園施設に対して、公園利用者の安全・安心を確保するため、アセットマネジメント手法を取り入れ効率的・効果的に公園施設を維持管理していく。 【R2年度の実施内容】 ・長寿命化計画に基づく設計・工事 ・公園遊具健全度調査			事業費(a)		R1決算	R2決算	R3予算	長寿命化計画に基づき交付金等の歳入を確保し改修工事等を実施することで本市の歳出を削減する。また、事業を計画的に進めることで維持管理費を平準化するとともに、アセットマネジメントの手法を取り入れ効率的・効果的な維持管理を行っている。		
				うち一般財源		279,080	413,969	724,290			
				主 な 内 訳	設計業務	8,496	62,940	218,545			
					整備工事費	266,457	299,566	331,500			
					各種調査・計画策定	4,127	51,463	174,245			
人件費(b)				113,400	114,800	114,800					
年間経費(c) = (a)+(b)				392,480	528,769	839,090					

事業概要一覧表

所管局			建設局									
No.	事業番号		019-111	事務事業名	公園施設管理事業（公民連携）	所管課	公園監理課			分類	D 建設・整備事業	
43	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～				SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築					ターゲット	11.7			
		取組の方向性	③新技術や民間技術力の活用					主な取組	民間活力を活用した魅力的な公園の運営			
	事業内容			投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見				
	行政主導による維持管理中心の公園管理から、多様な主体との連携・協働による経営的視点・利用者の視点に立って、都市公園の管理運営を戦略的に推進する公園管理への転換を図る。公園の維持管理費を縮減し、より質の高い公園サービスを公園利用者に提供することで、公園の活性化を図る。 【R2年度の実施内容】 ・P-PFI事業の推進 ・指定管理による施設運営 ・公園愛護会活動支援			事業費(a)		R1決算	R2決算	R3予算	民間活力の導入が可能な公園について、民間資金を活用し、本市の財政負担を軽減しつつ、都市公園の質の向上や公園利用者の利便の向上に向けた事業を行っている。 また、原池公園では、民間資金によりバーベキュー広場オープンテラスを設置し、当該施設から生じる収益を活用してグラウンドゴルフフィールド等の施設を整備している。 以上のことから、公民連携の推進により効果的・効率的な事業を実施しているものと考えられる。			
				うち一般財源		150,466	193,743	265,371				
				主 な 内 訳	公園施設整備負担金	0	0	25,000				
					指定管理料等	2,450	48,672	101,070				
					公園愛護会関連事業費	148,016	145,071	139,301				
				人件費(b)		36,450	36,900	36,900				
年間経費(c)=(a)+(b)		186,916	230,643	302,271								
No.	事業番号		019-073	事務事業名	大仙公園整備事業	所管課	公園緑地整備課			分類	D 建設・整備事業	
44	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～				SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
		施策	(1) 世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の継承と魅力の創出					ターゲット	11.4			
		取組の方向性	②大仙公園を活かした魅力あるおもてなし環境の整備					主な取組	百舌鳥古墳群の保全			
	事業内容			投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見				
	【R2年度の実施内容】 ・事業用地の取得（百舌鳥夕雲町二丁地区）を行うため、不動産鑑定評価や用地測量、支障物件の調査業務等を行った。 ・世界遺産登録による来訪者対策のため、寺山南山古墳周辺の基本設計の修正及び実施設計を行った。			事業費(a)		22,728	23,088	16,968	・用地測量及び物件調査等土地建物の取得手続きを進め、約930㎡（10筆）の事業用地を取得し、管理用フェンスの設置工事を実施した。 ・地元及び関係機関との調整を密に行いながら、実施設計（園路設計及び植栽配置等の検討）を完了させた。			
				うち一般財源		9,438	10,888	6,368				
				主 な 内 訳	用地購入のための 支障物件調査委託 整備工事費 (フェンス設置工事)	11,409	8,168	10,140				
					工事設計、測量等委託	2,651	3,047	800				
					工事設計、測量等委託	3,523	2,808	4,000				
					手数料 (不動産鑑定手数料)	345	2,409	1,886				
				その他（消耗品費など）		4,800	6,656	142				
人件費(b)		16,370	16,650	16,650								
年間経費(c)=(a)+(b)		39,098	39,738	33,618								

事業概要一覧表

所管局			建設局											
No.	事業番号		019-074	事務事業名	緑の政策審議会		所管課	公園緑地整備課			分類	F 審議会・協議会等運営事業		
45	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～					SDG s 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(15)陸の豊かさを守ろう				
		施策	(3) ゼロカーボンシティの推進						ターゲット	15.1,15.2,15.5				
		取組の方向性	④生態系や緑の保全						主な取組	都市緑化の推進				
	事業内容			投入量 (単位：千円)					費用対効果（事業の効率性）に係る所見					
	本審議会は、委員14人（市議会議員2人、学識経験者7人、市長が適当と認める者5人）で組織された緑の政策審議会(必要に応じて部会を設置)において、市長の諮問を受けて、緑の基本計画その他緑の保全と創出に関する重要事項について、調査、審議を行うものである。 【R2年度の実施内容】 ・R2年12月25日 R2年度第1回審議会開催（堺市役所本館12階第一委員会室） ・R3年3月3日 R2年度第2回審議会開催（書面開催）			事業費(a)		R1決算	R2決算	R3予算	・新型コロナウイルス感染症拡大による事業スケジュールへの影響が懸念されたが、オンライン会議や書面会議を活用し、効率的に審議会を開催することができた。 ・第1回審議会:出席委員 13/14人（うち1人はオンライン参加）、会議時間 1時間12分 ・第2回審議会:出席委員 14/14人（書面開催） ・堺市緑の基本計画に掲載されている各施策について、進捗報告を行い、今後のより良い堺の緑の将来像の実現のために、各委員から専門的な助言を得ることができた。 ・大仙公園基本計画（改定案）やそのパブリックコメントの実施結果について、各委員からご意見をいただき、R3年5月の改定に向けて適切に手続きを進めることができた。					
				うち一般財源		150	396	922						
				主 な 内 訳	緑の政策審議会 委員報酬		102	276						572
					印刷製本費		0	79						128
					筆耕翻訳料		48	41						222
				人件費(b)		8,100	8,200	8,200						
				年間経費(c)=(a)+(b)		8,250	8,596	9,122						
No.	事業番号		019-081	事務事業名	都市緑化センター運営事業		所管課	公園緑地整備課			分類	E 指定管理施設管理運営事業		
46	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～					SDG s 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(17)パートナーシップで目標を達成しよう				
		施策	(3) ゼロカーボンシティの推進						ターゲット	17.17				
		取組の方向性	①脱炭素型都市構造・社会システムの構築						主な取組	地域住民のつながり強化、多様な主体の協働の促進				
	事業内容			投入量 (単位：千円)					費用対効果（事業の効率性）に係る所見					
	【R2年度の実施内容】 ・総合景観を重視した庭園見本園等の施設整備や刊行物等による花と緑に関する情報の発信 ・花や緑に関する相談 ・講習会の開催 ・見本展示会や人と花と緑が触れ合えるイベントの開催 ※実施内容については、コロナ禍の自粛によりR元年度よりその実績は下回った。			事業費(a)		R1決算	R2決算	R3予算	・新型コロナウイルス感染症拡大により、令和元年度より来館者数は減少したが、季節の花のSNS配信や、各種講習会等の参加者の人数制限及び連絡先の確認を行うなど感染症対策を講じながら、都市緑化を進めるうえでの定性的な要素となる「心のケア」「癒し」等を推進した。 ・来館者数:R2年度 約8.4万人（R元年度 約16.2万人） ・刊行物の発行「Green messe」:年6回発行、全48,000部 ・花や緑に関する相談:R2年度 2,632件（R元年度 3,188件） ・講習会の開催:R2年度 43回（R元年度 122回） ・展示会＆イベントの開催:R2年度 17回（R元年度 42回） ・施設利用者の満足度:93%（R3年3月末現在）					
				うち一般財源		89,637	70,942	60,958						
				主 な 内 訳	緑化センター 施設運営委託料		63,078	63,658						60,958
					都市緑化センター運営 見直し計画策定業務		0	3,960						0
					都市緑化センター施設改修工事 費（防犯カメラ更新工事ほか）		25,131	2,444						0
					施設等修繕料		508	880						0
					その他（受電設備改修工事 現場監理業務など）		920	0						0
					人件費(b)		9,720	9,840						9,840
年間経費(c)=(a)+(b)		99,357	80,782	70,798										

事業概要一覧表

所管局			建設局											
No.	事業番号		019-082	事務事業名	都市公園整備事業		所管課	公園緑地整備課			分類	D 建設・整備事業		
47	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～					SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
		施策	(3) ゼロカーボンシティの推進						ターゲット	11.5,11.b				
		取組の方向性	①脱炭素型都市構造・社会システムの構築						主な取組	住宅、公共施設、都市インフラの災害対策の推進				
	事業内容			投入量（単位：千円）					費用対効果（事業の効率性）に係る所見					
	【R2年度の実施内容】 ・鳳公園公共施設管理者負担金 ・浅香山緑道整備実施設計 ・陶器公園敷地造成工事 ・菩提公園基本設計及び測量業務			事業費(a)		7,653	12,363	98,557	【鳳公園公共施設管理者負担金】 ・都市再生機構への用地費の償還（H20年度～R9年度） 【浅香山緑道整備実施設計（R2年度～R3年度）】 ・園路及び給排水設備等設計 （近接する他課の設計業務と合体発注を行うことにより、事務の効率化を図った。） 【陶器公園敷地造成工事】 ・造成工300m3 （他工事との調整を行い、造成費用の削減を行った。） 【菩提公園基本設計及び測量業務】 ・公園施設の設計や植栽の配置等の検討と図面の作成及びそれに伴う測量					
				うち一般財源		7,653	11,416	33,390						
				主な内訳	鳳公園公共施設 管理者負担金	7,653	7,653	7,653						
					浅香山緑道整備 実施設計	0	1,839	4,317						
					陶器公園整備 敷地造成工事	0	1,485	0						
					菩提公園基本設計 及び測量業務	0	1,386	0						
その他（浅香山緑道 整備工事など）					0	0	86,587							
人件費(b)		8,100	8,200	8,200										
年間経費(c)=(a)+(b)		15,753	20,563	106,757										

No.	事業番号		019-084	事務事業名	天神公園事業		所管課	公園緑地整備課			分類	D 建設・整備事業		
48	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～					SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
		施策	(3) ゼロカーボンシティの推進						ターゲット	11.5,11.b				
		取組の方向性	①脱炭素型都市構造・社会システムの構築						主な取組	住宅、公共施設、都市インフラの災害対策の推進				
	事業内容			投入量（単位：千円）					費用対効果（事業の効率性）に係る所見					
	本事業は一人当たりの公園面積が少ない東区において、広域避難地の機能を有する地区公園として整備するものであり、都市計画公園区域約5.7haのうち、先行して事業認可区域約1.0haを整備するものである。 【R2年度の実施内容】 ・基本設計 ・用地測量			事業費(a)		7,082	8,122	192,801	・事業認可区域約1.0haについて、基本設計を完了させた。 （公園施設の設計や植栽の配置等の検討と図面の作成） ・事業認可区域約1.0haのうち、境界未確定部分である約0.2haについて用地測量を実施し、すべての境界確定を完了させた。					
				うち一般財源		7,082	6,622	47,155						
				主な内訳	工事設計、測量等委託	5,310	8,122	28,352						
					土地購入費（再取得分・公共用地 先行取得特別会計）	0	0	115,194						
					天神公園基盤整備工事	0	0	45,194						
					電柱等移設工事負担金	0	0	2,000						
その他（手数料など）					1,772	0	2,061							
人件費(b)		32,400	24,600	24,600										
年間経費(c)=(a)+(b)		39,482	32,722	217,401										

事業概要一覧表

所管局		建設局											
No.	事業番号	019-085	事務事業名	原池公園事業	所管課	公園緑地整備課			分類	D 建設・整備事業			
49	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(11)住み続けられるまちづくりを					
		施策	(3) ゼロカーボンシティの推進				ターゲット	11.5,11.b					
		取組の方向性	①脱炭素型都市構造・社会システムの構築				主な取組	住宅、公共施設、都市インフラの災害対策の推進					
	事業内容				投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見				
	本事業は、スポーツ・レクリエーション活動の場や健康づくりの場、災害時には広域避難地の機能を有する運動公園として整備するものである。（事業期間：H29年度～R3年度） 【R2年度の実施内容】 ・野球場周辺の公園整備を実施 ・公園用地の買戻しを実施				事業費(a)		R1決算	R2決算	R3予算	・野球場西側に大型複合遊具を整備し、その周辺の植栽工事等を完了させた。 ・約0.8haの用地買戻しを完了させ、事業区域約10.1haのうち、累計約7.8haを開設した（すべての公園用地買戻しを完了）。			
					うち一般財源		2,235,172	874,396	664,599				
					主な内訳	土地購入費（都開）		307,372	48,596				64,799
						土地購入費（都開）		1,077,740	412,870				265,000
						原池公園第3期 建設工事（工事委託）		682,016	338,202				310,000
						土地購入費（公共）		473,852	121,382				0
						手数料 （不動産鑑定手数料）		1,564	1,876				800
					その他（原池公園樹木 撤去工事など）		0	66	88,799				
	人件費(b)		23,570	35,300	35,300								
年間経費(c)=(a)+(b)		2,258,742	909,696	699,899									
No.	事業番号	019-086	事務事業名	都市計画公園見直し事業	所管課	公園緑地整備課			分類	G 企画・計画策定・調査研究事業			
50	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(15)陸の豊かさを守ろう					
		施策	(3) ゼロカーボンシティの推進				ターゲット	15.1,15.2,15.5					
		取組の方向性	①脱炭素型都市構造・社会システムの構築				主な取組	都市緑化の推進					
	事業内容				投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見				
	本事業は、都市計画公園のうち、事業に未着手（未整備）となっている公園を対象に、公園整備水準、社会情勢の変化等を踏まえ、都市計画公園見直しガイドラインを作成した上で、その必要性を検証し、必要に応じて都市計画変更を行う。 その後、存続する公園は、限られた予算の中で優先度を決定し、効果的かつ効率的に整備を進めるための「都市計画公園整備プログラム」を策定した後に、それに基づき計画的に整備を進める。 【R2年度の実施内容】 ・都市計画公園見直しガイドラインに基づき、長期未着手となっている見直し対象公園について、都市計画審議会に付議し、都市計画変更を行った。				事業費(a)		R1決算	R2決算	R3予算	・都市計画公園見直しガイドラインに基づき、長期未着手となっている見直し対象公園35箇所の必要性を検証し、区域を廃止することとなった21公園について、都市計画審議会に付議し、都市計画変更を行った。			
					うち一般財源		998	0	0				
					主な内訳	委託料		0	0				0
								998	0				0
								0	0				0
								0	0				0
								0	0				0
					人件費(b)		17,050	16,400	16,400				
	年間経費(c)=(a)+(b)		18,048	16,400	16,400								